

班溪寺(木曾義仲ゆかりの地) 埼玉県比企郡嵐山町鎌形1907 所在

前方が班溪寺全景



威徳山班溪寺とある





木曾義仲公誕生之地とある









* 班瀧寺の寺で成徳山班瀧寺といふ。この寺
 の梵鐘は次の文字が記されている。
 大嘗長仲 長男 清成 延喜元年 阿多
 成徳院 班瀧寺 大徳 利達 又し所也
 つまじの妙虎大徳(山吹標) 中世子 義高
 十一箇の時 入道 則兼 徳頼の命を受け
 徳頼次に斬られた。菩提を祈りてこの寺に定
 めた。仁壽三年(一一五三年)と漢字が記さ
 れた。仁壽三年(一一五三年)と漢字が記さ
 小枝御前が住まわさ。生きたるの石が切
 班瀧大徳と銘も残して鐘形に下屋敷を造り
 駒王丸である。又寿二年八月(一一五五年) 義
 賢は太皇太后の形を大徳に討たれた。山
 駒王丸は富山重徳。香取大徳の情により、水
 曾じに成入。成入後 相持軍と成せし山
 吹標に大嘗長の子 長神の重と成徳寺の
 合戦と成軍し。建文元年(一一九〇年)二月
 二十二日(こ)に没す。義高は頼朝の叔父
 と成され、班氏の世継といわれたが 頼朝の
 ため命を失した。

埼玉県

班瀧寺
 我此土安穩
 天人常充滿
 園林諸堂閣
 種種皆嚴

義仲の妻である「山吹姫」が非業の死を遂げた子の清水冠者源義高の菩提を弔うために創建したとも、山吹姫自身の菩提を弔うために創建したともされている

班溪寺

曹洞宗の寺で威徳山班溪寺という。この寺の梵鐘に次の文字が記るされている。

木曾義仲 長男 清水冠者源義高為 阿母 威徳院殿班溪妙虎大姉 創建スル所也

つまり母の妙虎大姉（山吹姫）が吾子 義高が十一歳の時、入間川原で頼朝の命を受けた堀藤次と斬られた。菩提を弔ってこの寺を建てた。仁平三年（一一五三年）に源義賢が武蔵国大蔵に館を構えて鎌形に下屋敷を設け、小枝御前を住まわせ、生まれたのが義仲（幼名駒王丸）である。久寿二年八月（一一五五年）義賢は大蔵館で甥の悪源太義平に討たれたが、駒王丸は畠山重能、斎藤実盛の情により、木曾に送られ、成人後、旭将軍に出世した。山吹姫は木曾育ちの娘、義仲の室とし幾度かの合戦に従軍し、「建久元年（一一九〇年）十一月二十二日ここに寂す。」義高は頼朝の娘大姫と結ばれ、源氏の世継といわれたが、頼朝のため命を落した。

埼玉県



木曾義仲の妻で非業の死を遂げた源義高の母である山吹姫がここに眠るという



山吹姫を供養するための五輪塔





都幾川にかかる色鮮やかな班溪寺橋



さて、班溪寺の西側に進んでみる







「伝木曾殿館跡」とある



参考ホームページ

<http://www.asahi-net.or.jp/~ab9t-vmh/kakuchi/ranzan01/kamagata.html>

http://orange.zero.jp/ken-you_mark2.sky/syashin-genpei7.htm

<http://23.pro.tok2.com/~freehand2/rekishi/hankeiji.html>

<ol style="list-style-type: none">1. 石殿観音2. 木造阿弥陀如来像3. 五厘沼瓦窯跡群4. 菅谷館跡5. 日本赤十字社埼玉支部旧社屋6. 杉山城跡7. 畠山重忠像8. 鎌形八幡神社・班溪寺9. 慈光寺10. 小倉城跡11. 吉見観音(安楽寺)12. 赤沼古代瓦窯跡13. 松山城跡14. 岩室山観世音15. 笛吹峠16. 岩室山の守籠	
--	---

ホームページより

